

平成23年度図書館ネットワーク専門委員会研究報告書

平成24年3月

埼玉県図書館協会 公共図書館部会
図書館ネットワーク専門委員会



「プリントアウト」
「コピー」
「無料配布・貸出」
ができます。

利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。
www.bunka.go.jp/jiyuriyo

報告書刊行によせて

日頃は、埼玉県図書館協会図書館ネットワーク専門委員会の活動に、御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。今年度の活動報告として「平成23年度図書館ネットワーク専門委員会研究報告書」を刊行させていただきます。なお、今年度からウェブ版報告書として御提案いたしますので、冊子版の必要な方はダウンロードしてお使いくださるようお願いいたします。

さて、当委員会では今年度の研究テーマを「埼玉県版相互貸借管理システム研究」として、一年間研究を続けて参りました。昨年度のテーマ「新たな埼玉県内公共図書館総合目録システムの構築の研究」は、「埼玉版 ISBN 総合目録」と「埼玉県横断検索システム」を一緒にしたツールの可能性を「Enju」に求めましたが、発展形として別のアプローチから、相互貸借における検索から申込みまでの流れを一つのシステムで運営する可能性について研究を続けたものです。

埼玉県内における公共図書館の相互協力は、全国的にもトップレベルの水準で利用者への資料提供にえています。利用者の要求は高度化しその量も増大しています。このような中で、利用者への迅速な資料提供を行え、また図書館職員の負担軽減にもつながる相互貸借システムが構築できないか、とその可能性の研究を行いました。研究の中で、全国には図書館情報ネットワークを県域ですでに運営されている先進的な事例があることが確認できました。

平成24年2月17日に開催された図書館ネットワーク研修会では、当委員会から研究テーマについての報告を行い、また全国的に先進事例である三重県の「MILAI（三重県図書館情報ネットワーク）」について、三重県立図書館の井戸本吉紀氏を講師に迎え、システムの導入から現状、課題までをご講演いただきました。埼玉県内でも実現の可能性が見えてくるような有意義な内容のものになったと思います。

私たちの身の回りでは、インターネットの発達やスマートフォンの普及により、図書館の横断検索まで行うアプリなども登場しています。高度情報化社会といわれて久しく、図書館に対する住民の要求も多様化しています。図書館職員の皆様も、利用者の要求に迅速に対応できるよう日々努力をされています。また、現代の図書館は専門的な職員の減少や経営の多様化など変動する時代となっています。今後はシステムだけの協力や繋がりだけでなく、希薄になりがちな人的ネットワークも含めて、埼玉県の新しい図書館協力のシステムづくりが望まれるのではないのでしょうか。研修会や本書が少しでもお役に立つことができたら幸いです。

平成24年3月

図書館ネットワーク専門委員会委員長 油橋將行

目次

報告書刊行によせて

図書館ネットワーク研修会の記録	1
講演	
「三重県図書館ネットワークの構築」	2
(講師：三重県立図書館 井戸本 吉紀 氏)	
講演資料	10
研究報告	
「平成23年度図書館ネットワーク専門委員会研究報告」	18
(報告者：加須市立加須図書館 阿部 浩和 委員)	
研究報告資料	23
平成23年度図書館ネットワーク専門委員会事業報告	27
平成23年度図書館ネットワーク専門委員会名簿	28